

●巻頭エッセイ・春夏秋冬

動き始めた学びの時計 —— 夜間中学校生徒への聞き書きを通してみえる沖縄朝鮮の変容と一貫した精神に込めたい
民主政権の樹立へ突き進む韓国労働者・民衆
間もなく六年目を迎えるフクシマ —— 女たちの活動とカレンターと

学校NPO 珊瑚舎
スコールスタッフ
東アジア青年交流プロジェクト事務局
月刊「日韓分析」
原発いらない
福島の人たち
しゅんかしゅうとう

労働者通信

国家公務員だって労働者だ —— 賃下げ違憲訴訟控訴
バス運転士に不当な転籍 —— 審判判決について
壊れたイスつからの再出発 —— 「追い出し部屋」で強要
韓国に進出した日系企業の横暴を許すな！ —— 「わたしの原点」
破壊された森林・農地肥沃な美田 —— 韓国サンケン労組の
整理離職者の闘い
重なる苦悩を
見捨てる行政

国公労連
全司法労働組合
元京成電鉄労組
書記長
全労協全国一般東京労組
フジビジュアル分會
韓国サンケン労組を
支援する会
埼玉県在住
元教員

特集Ⅰ——いまこそ社会主義が必要だ！▽

安倍政治の本質と労働者人民の闘いの進路

労働者階級人民の闘いには、歴史的階級的・国際的観点が必要だ

資本主義は戦争を必要としている

映画「戦争案内」監督・高岩 仁 2006年解説

ロシア・アヴァンギャルド作品の表紙掲載の意味

「表紙の絵について」

「ロシアの国境を守る赤軍と海軍」(ロスタの窓 No.81)二九二〇年作

「今号のイラスト」マヤコフスキー作「ロスタの窓」

広野省三

23

金野正晴

38

金山明子

36

金山政紀

61

特集Ⅱ——中国の歴史と現状をどうみるべきか▽

中国「社会主義」の再検討

「鄧小平理論」とは何だったのか

中国「社会主義」を考える

国有企業改革を中心に

山下勇男

62

瀬戸 宏

74

朴槿恵は退陣せよ！ 民主主義をかちとろう！

——韓国論調—— 朴槿恵 崔順美ゲートの背景と朴槿恵退陣闘争の展望

韓国・労働社会科学研究会

114

戦争へとむかう安倍政権の治安体制づくりを許すな！

名古屋学院大学教授
憲法学・平和学

飯島滋明

46

状況2017冬▽

労働——政府・独占の「雇柔軟化」がらうもの

自治体労働者
「株父困民党」一八八四年——日本をゆるがした十日間

吉良 寛

138

演劇——仮面の正体はなにか

文化活動家

岡野奈保美

142

植民地主義との闘い

——ダーバン宣言とは何だったのか

東京造形大学教授

前田 朗

128

日本中を不寛容社会化した拉致問題強硬派

——「続・拉致問題で歪む日本の民主主義」

琉球大学名誉教授

高嶋伸欣

88

研究ノート

「婦人と文学」(一九四七)を読む

HOWS
戦後文学ゼミ会員

松岡慶一

146

読書ノート

河田 宏著 『日清戦争は義戦にあらず』
望月衣塑子著 『武器輸出と日本企業』
島 洋子著 『女性記者が見る基地・沖縄』
本間 龍著 『原発プロパガンダ』

社会主義研究 大木昭三
朝鮮大学校学生 阪上みつ子
戦後文学ゼミ会員 崔 悠 純
H.O.W.S 野田光太郎

BOOK WATCH

「トルソー」創刊号(群島の会編) / 「沖縄・伊江島」(木軍・LCT爆発事故) (島袋清徳著) / 「まかり通る安倍政権の大本営発表——壊憲の危機にいかん立ち向かうか」(山口正紀 講演録)

文庫発掘 『最暗黒の東京』(松原岩五郎著)

編集者 渥美 博

短歌 空のモチーフii

歌人 加部洋祐

川柳 笑歌 カネの心

笑い 茸

連載

放射能汚染と向かい合ったための基礎知識 ⑩

今中哲一

金野正晴

原発事故被災者の声 ⑭

國分富夫

波来土 波来土

読者会から 東京西部 / 福岡

イラスト通信

広浜綾子

デザイナーの独り言

追川恵子

編集後記

176

表紙デザイン・追川恵子 イラスト・金山政紀

